

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	高齢者スポーツ連絡協議会活動事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	60歳以上の運動不足になりがちな高齢者に
手段	サークル活動を支援することにより
想定する成果	健康維持と交流の場を設ける。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
春季スポーツ大会参加者	雨天中止	241人	282人
秋季スポーツ大会参加者数	264人	261人	280人
所属団体	蒲郡市民踊協会、蒲郡アウトドアクラブ、蒲郡社交ダンス協会、蒲郡レクダンス愛好会		

成果指標

成果指標名	春季高齢者スポーツ大会参加者数	秋季高齢者スポーツ大会参加者数
成果指標の説明	春季高齢者スポーツ大会参加者数	秋季高齢者スポーツ大会参加者数

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			282人
	実績		241人	
成果指標	計画			280人
	実績	264人	261人	
事業費	事業費	72	50	60
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	908	876	902
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	908	876	902

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	春、秋2回の大会に各地区から250名以上の参加があって、ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	催し物には市の備品を使用しているので、費用対効果がよく、投入された予算にほぼ見合っている。
事務効率性	2	2	競技運営は連絡協議会が行い、事務局は準備等を行い、投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	2	2	コスト的にも民間実施には無理があって、市が実施するのが望ましい事業である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市内12地区の理事により、参加申込書を配布する等、自主的に運営している。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	高齢者の心と身体の健康維持のため不可欠な事業であるが、大会運営の合理化等、事業の進め方に改善が必要である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

オープン参加を認めて、参加者の増大を図った。

今後改善すべき点

新規企画に取り組み、参加者の増加を図りたい。

平成16年度予算に反映する項目

新規企画に相当する予算措置をしたい。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	ママさんバレーボール推進連絡協議会活動事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	主に家事中心に生活する女性の交流ために
手段	ママさんバレーボール推進連絡協議会活動を支援することによって
想定する成果	運動不足の解消と基礎体力の向上を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
参加者数	441人	441人	450人
チーム数	44チーム	43チーム	45チーム
大会数	大会1 交歓会3	大会1 交歓会3	大会1 交歓会3

成果指標

成果指標名	1チーム当たりの参加者数
成果指標の説明	年間延参加者数 / チーム数

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			10人
	実績	10人	10人	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	101	96	101
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	937	922	943
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	937	922	943

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	家事の合間に行うが、家族の協力により、ほぼ目標どおり進捗させている。
経済効率性	2	2	バレーボール競技の経験者がボランティアとなって指導しているので、費用対効果は高い。
事務効率性	2	2	協議会の自主的運用が大きいので投入された人員にほぼ見合っている。
必要性	2	2	自主的活動主体で運営してきている。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	計画から実施まで市民によって活動が行われている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	これまでも自主的に活動を行っており、現在の進め方でよいが、計画的に組織拡大に努める必要がある
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

年間スケジュールについて、当番チームが事業毎に担当し、事業計画を実施するにあたり責任性を持たせた。

今後改善すべき点

交歓会等における紛らわしい判定を減らし、安心できる楽しいゲームのため審判員の資質の向上を図る。

平成16年度予算に反映する項目

大会、交歓会を安全に楽しく行うため、消耗品の予算を計上する。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	プロ野球に関心のある蒲郡市民のために
手段	ウエスタンリーグ公式戦を誘致開催することによって
想定する成果	スポーツの振興と意識啓発を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
入場者数	3,031人	2,995人	2,760人
入場料総額	1,087千円	1,079円	1,003千円
開催委託料	1,782千円	1,782千円	1,159千円
開催負担金	700千円	700千円	650千円

成果指標

成果指標名	入場者率
成果指標の説明	入場者数/定員(4,700人)×100 内野席4,700人、外野席2,000人

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			58.7% (内野席)
	実績	64.5% (内野席)	63.7% (内野席)	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	2,482	2,482	1,809
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	4,154	4,135	3,493
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,154	4,135	3,493

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	毎年内野席に3,000人前後の人が入場し、事業の成果はかなり高い。
経済効率性	2	2	実行委員会で運営しているため、コストは低く、経済効率性は高い。
事務効率性	1	1	実行委員会の協力が大きいので、効率は高い。
必要性	2	2	中日新聞社との交渉で、市が窓口になることは避けられない。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	市民による実行委員会が運営し、計画段階から市民参加がなされている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	多くの市民に、年に一度のプロ野球観戦の機会を継続していく。
------	---	---	-------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

委託料の据え置きとウエスタンリーグ実行委員会への負担金の減額を実施した。

今後改善すべき点

グッズ販売業者の契約について据え置きを要求するとともに中日新聞社との間に交わす契約金も据え置きを要求する。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	スポーツ少年団活動事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	小中学生に対して
手段	スポーツ少年団活動を支援することによって
想定する成果	スポーツによる青少年の健全育成を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延参加者数	8,450人	7,251人	8,000人
年間活動回数	24回	26回	28回
団員数	994人	1,012人	1,015人
団数	19団	19団	19団
種目	少林寺拳法、剣道、柔道、軟式野球、空手、サッカー、卓球		

成果指標

成果指標名	1事業当たりの利用者数	1団当たりの団員数
成果指標の説明	年間延参加者数 / 年間活動回数	年間団員数 / スポーツ少年団数(19)

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			286人
	実績	352人	279人	
成果指標	計画			53人
	実績	52人	53人	
事業費	事業費	418	347	573
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	2,090	2,000	2,257
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,090	2,000	2,257

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	永年の経験により、団員数も増加しており、成果指標値も順当である。
経済効率性	2	2	体育協会の指導者が半ボランティアで指導しており、単位あたりの費用は低い。
事務効率性	2	2	投入された人員にほぼ見合っているが、効率面からいえば、できれば人員増を希望している。
必要性	2	2	各スポーツ面における指導者の資質向上を図るため、市が全面的にサポートすべきである
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	児童の保護者がバックアップとして参加している。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	スポーツを通じた青少年の教育の場として、基本的な人間形成の活動であり、次世代を担う青少年の社会活動の場として評価できるが、自主運営の認識を更に高める必要がある。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

活動面において自主性を高めるために、連絡網を整備した。内容はメールを駆使し、各団体の連絡箱を新たに設置した。
--

今後改善すべき点

指導者の資質向上のため、講習会等の実施及び参加を積極的に進める。

平成16年度予算に反映する項目

指導者講習会の開催及び参加経費を計上する予定

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	レクリエーション協会活動事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	余暇時間を有効に活用したい蒲郡市民に
手段	レクリエーション協会事業を支援することにより
想定する成果	健全なる生活習慣の高揚を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
加盟4団体による12事業の参加者数	1,770人	1,654人	1,600人
団体員数	4団体 268人	4団体 282人	4団体 241人
総事業費	4,027千円	3,989千円	4,053千円

成果指標

成果指標名	レクリエーション事業補助率
成果指標の説明	補助金額/総事業費 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			16.9%
	実績	17.0%	17.1%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	684	684	684
	人件費	3,343	3,305	3,369
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	4,027	3,989	4,053
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,027	3,989	4,053

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	毎年1,600人前後の参加があって、事業の成果はかなり高い。
経済効率性	1	1	協会の経費は会費、補助金、事業収入で運営され、市の補助金の占める率が過半数で効率性が悪い。
事務効率性	2	2	毎月1回理事会を開催していて、情報交換も良く、効率的にも投入された人員にほぼ見合っている。
必要性	2	2	収益性のある事業ではないので、民間では困難である。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市広報、チラシ等によるPR効果が浸透しており、事業参加する市民は多い
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	運営、催しも順調に行われているが、会員の高齢化に伴う会員数の減少が見られるので、新規会員の入会に努めたい。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

補助金の占めるウエイトが大きいので、細部に亘って無駄なく有効に経費を駆使した。

今後改善すべき点

新規企画に取り組み、会員の増員を図りたい。

平成16年度予算に反映する項目

年々事業の運営費が苦しくなっているので、補助金の増額を要望する。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	体育指導委員会活動事業		
根拠法令等	蒲郡市体育指導委員に関する規則		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	市民のスポーツ・レクリエーション活動について
手段	体育指導委員27名が軽スポーツ広場事業等を行うことによって
想定する成果	健やかな身体と心の育成を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
参加者数	3,423	3,756	4,000
軽スポーツ広場 開催日	48	50	50
開催種目	ユニホッケー、ディスクゴルフ、ダーツ、グラウンドゴルフ等		

成果指標

成果指標名	1 開催当たりの利用者数	1 公民館当たり年間平均開催数
成果指標の説明	年間延参加者数 / 年間延開催日	年間開催日 / 11ヶ所(公民館)

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			80人
	実績	71人	75人	
成果指標	計画			4.5回
	実績	4.4回	4.5回	
事業費	事業費	1,913	2,358	2,253
	人件費	4,179	4,132	4,211
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	6,092	6,490	6,464
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,092	6,490	6,464

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	公民館単位で実施しているが、開催数が4回を僅かに上回る程度で少ない。
経済効率性	2	2	体育指導委員が半ボランティアで実施しているのと、体育課の器具を利用するので経費は割安となっている。
事務効率性	2	2	二月に一度の体育指導委員会で各地区の状況、情報交換を行っていて、ある程度の効率性をあげている。
必要性	2	2	地域の指導者により行うことが狙いであって、市は制度維持のため力を入れるべきである。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	高齢化が進むなかで、健康維持のため簡易なスポーツによる交流を図ることを市民が要求する度合いは大きい。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	地域の交流の場であり、心身とも健全な環境づくりのため、指導者の資質の向上を図るべく、多忙な中で時間をさいて研鑽している体育指導委員は評価できるが、時間を有効に使うため連絡網の整備が必要である。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

新しく考案されたニュースポーツの習得を図るために、研修会の参加者を増やすとともに、他の市町村の体育指導委員との交流会における情報交換の場を増やした。
--

今後改善すべき点

体育指導委員は11地区の公民館から推挙されているが、地区によっては体育指導委員に関連しない多くの業務を兼任されているところもあって、体育指導委員として専念できないので、全地区を通じて待遇改善をお願いしたい。

平成16年度予算に反映する項目

3期以上活躍された体育指導委員の制服は疲弊しているので新しい物を支給したい。また、総合型地域スポーツクラブ設立を視野に入れた研修会参加の回数を増やしたい。これらの予算は必須なので要求したい。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	運動広場維持管理事業		
根拠法令等	蒲都市野外運動施設の設置及び管理に関する条例		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	運動好きな市民のために
手段	運動広場を有効に活用することによって
想定する成果	健全なスポーツ環境づくりを図る。

事業の概要

(千円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
施設数	20ヶ所	20ヶ所	20ヶ所
地元管理委託費	159	159	989
草刈除草等管理委託費	1,865	1,553	0

成果指標

成果指標名	運動広場の自主的管理割合
管理委託費	自主管理箇所数/施設総数 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果目標	計画			100.0%
	実績	25.0%	25.0%	
成果目標	計画			
	実績			
事業費	事業費	15,236	15,855	15,000
	人件費	1,671	1,652	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	16,907	17,507	16,684
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	16,907	17,507	16,684

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	現在、全施設の約8割を市が直接管理している。
経済効率性	1	1	山間部等における利用率が低く、管理意識も低い。
事務効率性	1	1	事務量が多く、多額な賃借料が必要となる。
必要性	2	2	地元に密着し、自由に利用できる施設である。
小計	5 / 12 満点中	5 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	草刈り等の管理を地元に委託していく。
合計	6 / 15 満点中	6 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	地元に密着している事業であるので、行政が維持管理することは適切ではない。
------	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

平成14年度までは草刈り等の管理は業者委託であったが、平成15年度から地元（総代）委託に切り替えることにより経費節減を図っている。

今後改善すべき点

地元管理意識の高揚につとめ、理解を高める工夫を検討したい。借地であり、利用度が低く地元で管理できない地区の所は廃止の方向で地元と協議する。

平成16年度予算に反映する項目

地元管理により、経費の節減を図りたい。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	南明柄グラウンド等夜間照明施設維持管理事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け
基本目標

	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

事務事業の内容

対象	施設の夜間利用者のために
手段	夜間照明施設を適正に維持管理することにより
想定する成果	健全なスポーツ環境づくりを図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績		平成14年度実績		平成15年度計画	
三谷グラウンド	84件	2,442人	87件	2,282人	85件	2,300人
浜町グラウンド	13件	394人	14件	430人	15件	450人
南明柄グラウンド	6件	189人	2件	50人	5件	150人
稼働可能日数	642日		642日		642日	

成果指標

成果指標名	夜間照明施設の稼働率	1件当りの利用者数
成果指標の説明	年間延利用件数/年間稼働可能日数 × 100	年間利用者数/年間利用件数

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			16.4%
	実績	16.0%	16.0%	
成果指標	計画			27.2人
	実績	29.3人	26.8人	
事業費	事業費	8,082	8,472	8,500
	人件費	835	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	8,917	9,298	9,342
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	電気使用料	905	763	800
	一般財源	8,012	8,535	8,542

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	1	1	利用の稼働率が20%以下となっている。
経済効率性	1	1	ナイター利用が3ヶ所(三谷、浜町、南明柄)のグラウンドのうち南明柄が極端に利用度が低い。
事務効率性	1	1	修理・保全に係る事務が多くなっている。
必要性	2	3	経費がかかり、採算性に問題があって民間では困難。元気な町づくりのために必要な事業である。
小計	5 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民から存続の声が予想される。
合計	6 / 15 満点中	7 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	ナイター利用が少ない所は廃止を検討したい。
------	---	---	-----------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

耐久性に強く、安価な部品等により補修した。

今後改善すべき点

施設が塩風によくあたり腐食が早いので、塗装の工夫を図りたい。

平成16年度予算に反映する項目

腐食した鉄塔の補修費を計上したい

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	指定団体等手続事務事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

事務事業の内容

対象	運動施設をよく利用する指定団体等のために
手段	使用料金の軽減を図ることにより
想定する成果	施設利用の利用回数増大を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
延利用件数	4,856件	4,802件	4,900件
指定団体利用件数	2,118件	1,869件	2,000件
使用料軽減額	2,969千円	3,455千円	3,500千円

成果指標

成果指標名	指定団体稼働率
成果指標の説明	指定団体年間利用件数/年間延利用件数 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			40.8%
	実績	39.2%	38.9%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	4	20	35
	人件費	835	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	839	846	877
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	839	846	877

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	指定団体等の体育施設稼働率が40%近くとなっている。
経済効率性	1	1	使用頻度が高く、投入した予算でほぼ見合った成果をあげているが、人件費を勘案するとややコストが高い
事務効率性	2	2	予約件数が多く、投入された人員とほぼ見合っているが、利用団体確定に時間がかかる。
必要性	3	3	前向きに体育施設をよく利用する団体のへのサービスとして必要である
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民から制度の存続の声が予想される
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	一般受付業務全般にわたり嘱託職員をいれる時期になっている
------	---	---	------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

年20回以上の利用団体が指定団体であり、資格判定のため、以前は担当者が利用済みの許可書を整理して利用回数を出していたが、時間を費やすので利用団体から前年度の総ての利用許可書の控えを提出させ、指定団体の登録をした。

今後改善すべき点

利用団体が毎年固定化していて、新しい利用団体が増えるように工夫したい。事務を簡素化するため、毎年更新を3年間継続等を検討する。

平成16年度予算に反映する項目

少ない職員で対応が苦しくなっているため、アルバイトなり嘱託職員の予算を計上したい。

組織、人員に関する提言

一般事務の仕事量が増加し、窓口対応に困難をきたすことがあるので、窓口専門の嘱託職員等の配置をお願いしたい。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載